

COMMUNICATION LETTER

博物館だより

2014.3 第 19 号
新潟市北区郷土博物館

〒950-3322
新潟市北区嘉山3452番地
TEL 025-386-1081
FAX 025-388-6290



にごり かわ せいじょうのところ

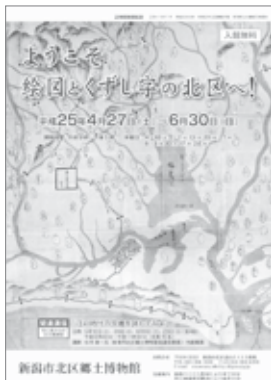
濁川公園内の石碑「濁川清浄処」

(新潟市北区濁川686-1)

濁川公園は、国道7号線、新新バイパス濁川インターチェンジ近くにあります。5 mほどの小高い丘の、森に囲まれた公園です。ここは、もともとプラスチック等の不燃ごみを埋め立て、人工的に築いた山でしたが、新潟市によって1995(平成7)年、地域住民の憩いの場として公園に生まれ変わりました。5.6haの広いスペースに森や水の流れに沿って散策路があります。その先の大きな池のほとりから、日本庭園を眺めることができます。

この池のほとりに、石碑「濁川清浄処」が建っています。このたびここに説明板を設置しました。

企画展 ようこそ 絵図とくずし字の北区へ！



展覧会リーフレット

当館は昭和43年の開館以来、古文書など歴史資料を収集・保存しています。現在、3万点以上を収蔵し、整理が続けられています。本展では、それら収蔵品のなかから、北区が描かれた江戸～明治時代の絵図や公文書などを展示し、あわせて、新潟市指定文化財である寄託資料「寛政二庚戌年福島潟絵図」を公開しました。

古文書はさまざまな情報を現代の私たちに伝えてくれます。古文書が残っていることにより、当時の社会の仕組みや人々の暮らしぶりなど、地域の歴史を知ることができます。しかし、墨で書かれたくずし字は、解読が難しく内容がわからないといわれます。そのため、現代とも比較しやすい絵図の展示を通して古文書に触れるきっかけとし、その保存の大切さを伝えました。

関連講座として、初心者対象の古文書講座を4回シリーズで開催しました。講座終了後、有志により「北区古文書解読研修会」が発足し、当館の古文書等を活用して活動を続けています。



「寛政二庚戌年福島潟絵図」の展示解説



江戸時代の公文書や、和紙50枚を貼り継ぎ長さ約15mにした紙に新井郷川を描いた絵図（写真右の手前）などを展示。写真右の奥が市指定文化財「寛政二庚戌年福島潟絵図」



企画展 郷土作家シリーズ 没後80年 南画家 阿部半雅展

1854(安政元)年、現新潟市北区樋ノ入に生まれた南画家、阿部半雅(1933(昭和8)年没、本名阿部久平)の没後80年を記念して開催しました。会期中の10月13日には新潟大学准教授、岡村鉄琴氏による講演会「阿部半雅が生きた南画の世界」を行いました。半雅を知る手がかりとなる資料が極めて少ない中で、今回の講座は、1937(昭和12)年に建立された半雅を顕彰する石碑の碑文から、その人物像と業績を読み解いていくというさながら歴史の授業のような内容が中心で、74人がテキストを見ながら熱心に聴講しました。



↑講演会
→阿部半雅翁之碑(樋ノ入 松枝神社境内)



記録集『まなびやに託されたメッセージ 新潟市北区の小学校・中学校の所蔵作品』刊行

学校が所蔵し、管理してきた作品は、作者の思いを大切に守り、未来に引き継いでいくことを学ぶためのかけがえのない教育財産です。当館では、平成22年度に区内の小・中学校21校の協力を得て、所蔵作品についてのアンケートを実施し、翌23年度から25年度にわたって、各校を訪問して調査を行いました。

学校は、開設以来、その制度も建物も、そして学校に関わる人たちも変わっていくという宿命を負っています。しかしその変化の歴史のなかで、「作品たち」は、多くの人たちから託された「まなびや」へのメッセージを担いつつ、過去から現在に引き継がれています。

このたびこの調査の集大成として記録集を刊行しました。まなびやの「作品たち」が、さらに未来のこどもたちへと引き継がれていくことを願っています。



学校所蔵品のリスト、図版、作品解説、作者紹介が掲載された記録集

市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」樹勢維持事業

樹勢盛んな「大久保の大ケヤキ」は、神明社（新潟市北区大久保50）の境内にあります。北区では「高森の大ケヤキ」に次ぐ大きさで、推定樹齢300年、目通り5.9m、高さは約25mです。堂々とした枝ぶりの大ケヤキですが、このたび、枯れ枝が数か所発見され、落下などの危険性もあることから、平成26年3月に剪定作業を実施しました。

作業に当たっては天然記念物として良好な樹勢を維持するため、樹木医の指導のもと慎重に行われました。

なお、事業経費297,150円のうち、50%にあたる148,000円を新潟市が補助し、管理者の大久保自治会は149,150円を負担しました。



大久保の大ケヤキ



枯れ枝除去工事



枯れ枝除去工事

濁川公園内の石碑「濁川清浄処」の説明板設置

地元から由来を説明した看板を設置してほしいとの要望があり、北区役所建設課と協議し、説明文案は北区郷土博物館が担当し、経費126,000円は北区建設課が負担して設置しました。



濁川公園内の石碑

「濁川清浄処」

この石碑は、現在の佐賀県小城市に生まれ、近代日本の書道史に大きな足跡を残した中林梧竹（1827-1913）の揮毫によります。

1895年（明治28年）、新潟市を訪れていた中林梧竹は、偶然にも、濁川の大地主・眞嶋桂次郎（1862-1938）と新潟市の同じ旅館に宿泊しました。ここから書家・梧竹と独学で書をたしなんでいた桂次郎との深い交流が始まります。同年9月28日付けの新潟新聞によれば、梧竹は桂次郎の招聘により、眞嶋宅に赴くとあります。この時期の滞在期間は定かではありませんが、眞嶋家の言い伝えでは、3箇月間ほど滞在し、書三昧であったと言われています。

中林梧竹は滞在中に、この地は濁川というが、濁りのない清らかな処だと「濁川清浄処」を揮毫していますが、それは桂次郎の願いでもありました。また梧竹は自らの書について、今は無理でも100年後には理解されるだろう、と言い残しました。そこで眞嶋家では、梧竹が一般的に理解されるまで待ちました。1998年（平成10年）、眞嶋桂次郎の孫にあたる眞嶋明（1923-2009）は、100年が過ぎたとし、中林梧竹の書を刻んだ石碑を建立しました。

1 企画展

(1) ようこそ 絵図とくずし字の北区へ!

4/27~6/30

絵図や古文書などの所蔵史料を展示し、江戸～明治時代の北区の姿を紹介。地域の歴史を解明する古文書の大切さを伝えるとともに、親しんでもらうため、初心者向け古文書講座も開催。

入館者 1,267人

○講座「江戸時代の文書を読んでみよう」

- 第1回 土地に関する文書 5/12 参加者15人
 - 第2回 租税に関する文書 5/26 参加者15人
 - 第3回 戸籍に関する文書 6/ 9 参加者13人
 - 第4回 村に関する文書 6/23 参加者12人
- 講師：杉本耕一氏 (北区郷土博物館協議会長)
曾部珠世 (当館専門嘱託員)

(2) 第30回 菱湖会書展 7/10~7/21

共催事業 (菱湖会・新潟市北区郷土博物館)

北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ展。会員21人の作品34点を発表。

入館者 631人

(3) 第16回 松蔭賞書道展 7/27~8/25

対象：市内の小学3年生～中学生

常設展示「-書聖- 弦巻松蔭の世界」にちなみ、市内小中学校の児童・生徒を対象に、書に親しむ機会づくりの一環として開催。入賞作品202点を展示した。

入館者 1,033人

○参加校

- ・北区内…小学校12校・中学校5校
- ・市内他区…小学校 3校・中学校3校
- ・書道教室…5校
- ・その他…個人出品6人

○出品点数 (点)

小3	424	中1	315
小4	533	中2	12
小5	535	中3	13
小6	657	教室・個人	95
合計		2,584	

- 入賞者数 ・松蔭賞 7人 (各学年1人)
- 202人 ・優秀賞 21人 (各学年3人)
- ・特選 61人 (各学年10人以内)
- ・佳作 113人 (各学年20人以内)



ようこそ 絵図とくずし字の北区へ!展 古文書講座



ようこそ 絵図とくずし字の北区へ!展 古文書講座



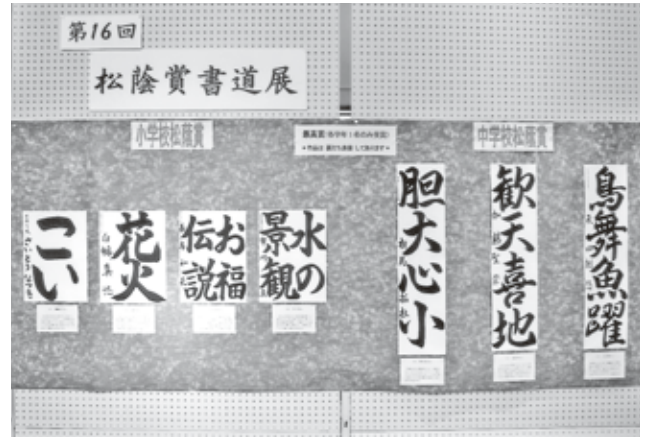
菱湖会書展



松蔭賞書道展審査

○松蔭賞受賞者

- 【小3の部】 齋藤 奈月（渡邊書道教室）
- 【小4の部】 白幡 真悠（早通南小学校）
- 【小5の部】 長島 和花（葛塚小学校）
- 【小6の部】 市川 真（五十嵐小学校）
- 【中1の部】 相馬 拓杜（黒埼中学校（個人））
- 【中2の部】 加藤 聖崇（新大附属新潟
中学校（個人））
- 【中3の部】 矢田 朝悠（早通中学校）



松蔭賞受賞作品

(4) 第7回 新潟市北区こども科学展

9/14~9/23

対象：北区の小・中学生

夏休みに、子どもたちが取り組んだ創意工夫に富んだ作品を発表・展示した。最優秀賞2人、優秀賞15人を選出。

入館者 937人

○参加校 区内小学校13校・中学校1校

○出品点数（出品者数）…198点（202人）

【模型の部】 …104点（108人）

【標本の部】 …27点（27人）

【発明工夫の部】 …31点（31人）

【自然科学写真の部】 …36点（36人）

○最優秀賞受賞者（2人）

【模型の部】 山際 菜央（笹山小4年）

【自然科学写真の部】

小早川莉穂（岡方第一小5年）

○優秀賞受賞者（15人）

【模型の部】 小林 寛人（葛塚東小1年）

山際 悠里（笹山小2年）

小早川珠穂（岡方第一小4年）

坂井 那心（松浜小5年）

馬場 遥（木崎小5年）

【標本の部】 北村 拓途（太夫浜小2年）

江口 紗英（葛塚東小3年）

樺山 りな（早通南小4年）

大野 峻輝（岡方中1年）

【発明工夫の部】 石高 海人（太夫浜小5年）

伊藤 陸人（濁川小6年）

【自然科学写真の部】

横山 駿莉（葛塚小2年）

池上 英里（松浜小3年）

安彦 祐汰（葛塚東小3年）

池上 夏汀（松浜小5年）



こども科学展審査



こども科学展



南画家 阿部半雅展

(5) 郷土作家シリーズ

没後80年 南画家 阿部半雅 展 10/5~10/27

阿部半雅（1854~1933）は、北区樋ノ生まれ。濁川の真嶋塾で詩文を学び、戸長などを務め地域にも貢献した南画家である。郷土作家シリーズとして没後80年を記念して開催。会期中、一部展示替えを行い、計31点を展示。 入館者 800人

○講演会「阿部半雅が生きた南画の世界」

講師：岡村鉄琴氏（新潟大学准教授）

10/13 参加者 74人

(6) 北区の小・中学校所蔵品調査から

まなびやに託されたメッセージ展Ⅱ

11/23~H26.1/19

北区内の小中学校に所蔵されている美術作品の公開展第2部。21校から25点を借用して展示。

展覧会期に併せて、調査の全記録集『まなびやに託されたメッセージ 新潟市北区の小学校・中学校の所蔵作品』を作成・刊行。 入館者 775人

○作品解説会

講師：神田直子（当館学芸員）

12/1 参加者 15人

1/19 参加者 20人

(7) 第7回 新潟市北区ジュニア絵画展

H26.2/8~2/23

対象：北区の小・中学生

ふるさとの自然・風景をテーマに描いた作品を募集。670点の応募のうち、入賞作品114点を展示した。

入館者 557人

○参加校 区内小学校12校・中学校3校

○出品点数 (点)

小1・2年生の部	288	小5・6年生の部	202
小3・4年生の部	149	中学生の部	31
合 計		670	

○大賞受賞者（各部門1人）

【1・2年生の部】 長谷川紗枝（早通南小2年）

【3・4年生の部】 太田 有紀（岡方第二小4年）

【5・6年生の部】 海津妃奈子（豊栄南小6年）

【中学生の部】 該当なし

(8) 第9回 新潟市北区美術協会会員展

H26.3/20~3/23

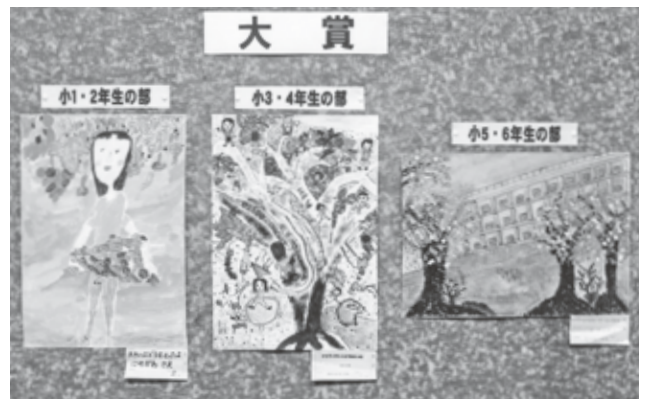
貸館事業（主催：新潟市北区美術協会）
（後援：新潟市北区郷土博物館）

新潟市北区美術協会会員による展覧会。39名の会員が絵画、書、写真、工芸の分野で53点を発表。チャリティー小品販売展も併催。

入館者 592人



まなびやに託されたメッセージ展Ⅱ



ジュニア絵画展大賞受賞作品



ジュニア絵画展



北区美術協会会員展

2 講座・教室ほか

(1) おとな博物館—学芸員やってみ隊—

(年8回活動) H25.8~H26.3

対象：一般

北区の歴史や文化、資料の整理の方法などを学び、地域の文化財や博物館に親しんでもらうとともに、多岐にわたる博物館や学芸員の仕事について理解を深め、博物館を支える人材の育成を目指す。

○体験内容：北区の指定文化財や史跡の見学、
展示作業、民俗資料整理、
歴史資料整理、ワラ細工、竹細工、
拓本、和本作り

講師：早川ミハル氏（ワラ細工）
曾部珠世（当館専門嘱託員）
宮崎芳春（当館館長）
佐藤晴夫（当館学芸員）

参加者 3人



おとな博物館

(2) 松蔭賞書道展課題練習会

6/9

対象：市内の小学3年生～中学生

松蔭賞書道展に向けて、各学年の課題練習を行った。

講師：小黑五稜氏（県書道協会顧問）
伊豆名皓美（当館専門嘱託員）

会場：豊栄地区公民館

参加者 2人



松蔭賞書道展課題練習会

(3) 常設展示解説会

7/14

4月に行った常設展の展示替えに伴う作品解説会

講師：小黑五稜氏（県書道協会顧問）

参加者 42人



常設展示解説会

(4) 手織り体験教室

7/27・8/17

対象：中学生以下

かつて葛塚でさかんに生産されていた木綿織物「葛塚縞」についてや、葛塚縞手織りの会の活動を紹介するとともに、会場の横井の丘ふるさと資料館の展示等も広く紹介。

講師：葛塚縞手織りの会

会場：横井の丘ふるさと資料館（分館）

7/27 参加者 3人

8/17 参加者 18人



手織り体験教室

(5) 博物館実習生等受け入れ

○大学生(博物館学芸員課程履修)の実習受け入れ
8/24~8/31

- ・新潟大学 (人文学部4人)
- ・大東文化大学(文学部1人)
- ・了徳寺大学 (芸術学部1人)

○中学校職場体験学習の受け入れ

- ・早通中学校2年生 5/22~5/24 5人
- ・光晴中学校2年生 7/9~7/12 2人
- ・葛塚中学校2年生 9/25~9/27 4人



博物館実習生 民具清掃

(6) 第23回 博物館まつり 11/2~11/4

対象：一般市民

見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーの設置や、郷土芸能発表会を通して伝統文化を学ぶ。

参加者延べ615人

○催し物 11/3

- ・チャリティー骨董市 (11/2~11/4)
(主催：チャリティー骨董市実行委員会)

・郷土芸能発表会

・超大筆パフォーマンス

揮毫：小黑五稜氏

・紙芝居・昔話・童謡を楽しもう

語り：須藤昭三氏

・実演・体験・チャレンジコーナー

(消しゴムハンコ、竹トンボ、ワラなべしき作り、葛塚縞機織り実演・体験)

○郷土芸能発表会出演団体(出演順)

- ・新崎樽ばやし連
- ・内島見神楽保存会
- ・新崎伊佐弥神楽保存会
- ・新崎甚句保存会
- ・正尺神楽保存会
- ・豊栄郷土民謡保存会
- ・松浜盆踊り太鼓保存会
- ・高森神楽保存会
- ・長場神楽保存会
- ・松浜太鼓保存会

○実演・体験コーナー協力者及び団体(敬称略)

板垣文也、伊藤喜代子、倉島百合子、
佐藤則子、田中敬子、月岡徳恵、成澤清子、
早川ミハル、林秀幸、
葛塚縞手織りの会、菱湖会



博物館まつり 超大筆パフォーマンス



博物館まつり ナベシキ作り

(7) はんこで遊ぼう! 12/8

石印材に名前や干支などを彫り、オリジナル作品を制作。

講師：小黑五稜氏(県書道協会顧問)

会場：豊栄地区公民館

参加者 17人



はんこで遊ぼう

3 北区文化財保護事業

(1) 歴史・民俗資料等 整理事業

未整理資料の整理・調査。展示等の活用をめざす。

- 歴史資料（古文書）整理 24日
内沼・佐藤家文書再整理（枝番取り等）
1751～2021-20番（985点）
嘉山・石井耕一家文書 215～755番（711点）
- 歴史資料（写真）整理 3日
- 民俗資料整理 70日

(2) 公開・活用

- 文化財説明板修繕（全修繕3カ所・部分修繕22カ所）
全修繕「水死亡霊塔」（前新田沖）
「坂井経堂先生顕彰碑」（上大月）
「上黒山遺跡」（上黒山）
部分修繕「村山得次郎君頌徳碑」など22カ所
- 郷土芸能発表会（再掲）
博物館まつりにおいて10団体が郷土芸能を披露。
11/3

(3) 保護育成

- 大久保の大ケヤキ枯れ枝除去 H26.3/1～3/20
事業費 297,150円（市補助金 148,000円）
- 収蔵資料くん蒸 H25.11

4 横井の丘ふるさと資料館管理運営事業

通年

学校教育のふるさと学習や地域づくりなどでの利用を図る。【日常管理】木崎保育園

【開館時間】月～土曜日の9:00～16:30

- 学校による展示見学利用数
 - ・木崎小 72人
 - ・太田小 24人
 - ・早通地区小中学校教員、地域コーディネーター研修 58人

5 郷土資料収蔵庫整理事業

通年

郷土資料収蔵庫で民俗資料を保存するにあたり、博物館収蔵庫内の民俗資料及び新収蔵資料を清掃し、郷土資料収蔵庫でくん蒸（11/7～11/13）を実施した。清掃はシルバー人材センターへの委託（6/18～8/9）など。



文化財説明板修繕
上黒山遺跡



博物館まつり 郷土芸能発表会 内島見の神楽



博物館まつり 郷土芸能発表会 新崎伊佐弥神楽



博物館まつり 郷土芸能発表会 松浜太鼓

1 企画展

(1) 収蔵資料展 和本と学びの世界

4/26~6/29

江戸～明治時代に作られた和本の教科書や、人々の学びに係わる民俗資料などを展示

(2) 第31回 菱湖会書展 7/11~7/21

共催事業（菱湖会・新潟市北区郷土博物館）
北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループによる作品展

(3) 第17回 松蔭賞書道展 7/26~8/31

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催する公募書道展。入賞作品238点を展示
対象：市内の小学3年生～中学生
作品募集締切：7/4

(4) 第8回 新潟市北区こども科学展

9/13~9/23

夏休みに子どもたちが取り組んだ、創意と工夫に富んだ作品を発表・展示
対象：北区の小・中学生
出品部門：模型・発明工夫・標本・自然科学写真

(5) 第8回 新潟市北区ジュニア絵画展

2/7~2/22

ふるさとの自然・風景や人の営みを描いた作品を募集し展示
対象：北区の小・中学生

(6) 第10回 北区美術協会展 3/21~3/29

貸館事業（主催：新潟市北区美術協会）
会員による作品発表と小品チャリティー頒布会

2 講座・教室ほか

(1) 「和本と学びの世界」関連事業

- ① 糸を使って和本を作ろう 5/31・6/1
- ② 江戸時代の文字を書いてみよう 6/14・6/15

(2) 松蔭賞書道展課題練習会 6/7

対象：市内の小学3年生～中学生
会場：豊栄地区公民館

(3) 手織り体験教室 7月・8月各1回

会場：横井の丘ふるさと資料館
対象：市内の小・中学生
講師：葛塚縞手織りの会

(4) 博物館実習生受け入れ 8/30~9/6

博物館学芸員課程履修の大学生受け入れ

(5) はんこで遊ぼう！ 12/7

石印材に名前や干支などを彫り、オリジナル作品を制作
対象：小学4年生以上

(6) 横井の丘ふるさと資料館管理運営 通年

小学校等のふるさと学習や地域づくりなどでの利用を図る

(7) 郷土資料収蔵庫の管理運営 通年

- ・民俗資料の運搬、清掃、くん蒸、整理、配架作業
- ・ビュー福島潟から管理替えをして収蔵した資料の整理
- ・虫の侵入防止、空調管理

(8) 学校・研究者など情報提供 通年

(9) 『北区のお宝ものがたり』・展覧会図録など 刊行物の販売 通年

3 北区文化財保護事業

○調査

- ・歴史・民俗・写真資料など整理作業

○公開・活用

- ・文化財等説明板修理

○保護育成

- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」保護等

4 北区郷土博物館常設展示リニューアル

特色ある区づくり事業（地域再発見事業）として、平成26～28年度の3ヵ年事業として実施。

詳細は次ページ。

特色ある区づくり事業 (地域再発見事業) 北区郷土博物館 常設展示リニューアル

平成25年10月に、北区自治協議会から4項目からなる「北区郷土博物館の充実に関する意見書」が提出され、下記のとおり回答いたしました。

北区自治協議会 意見書事項	意見書事項 回答
<p>1 現在の常設展示については、収蔵品を基礎に、古代、中世、近現代などの通史展示に更新すること。</p>	<p>考古、民俗、歴史、美術など約46,000点の収蔵資料を有効に活用し、子供たちをはじめ、区民が地域の大地や歴史文化、伝統を理解・共有し、北区の魅力を再発見できるような常設展示への変更を検討します。</p> <p>検討にあたっては、北区郷土博物館協議会と十分協議を行い、北区自治協議会にご報告しながら進めていきます。</p>
<p>2 弦巻松蔭コレクションについては、寄贈の趣旨を踏まえて、区施設での常設展示を検討するとともに、博物館での企画展や特別展を定期的実施すること。</p>	<p>北区郷土博物館の常設展示「弦巻松蔭の世界」は、15年が経ち、その間、生誕百年事業などを実施し、人となりと業績を市内外に周知することができました。今後は、常設展示の中に松蔭展示スペースを確保するとともに、定期的な企画展を通して弦巻松蔭を紹介することを検討します。</p>
<p>3 「横井の丘ふるさと資料館」については、トイレなどの設備も不十分であり、建物も老朽化していることから、利用者の利便性向上や展示資料の保全のため、早急に今後のあり方について検討すること。</p>	<p>分館「横井の丘ふるさと資料館」は、考古出土品や昔の生活道具、舟や漁具、農具、木崎村小作争議資料などが展示され、小学校のふるさと学習などで利用されています。しかし、無人のうえ、トイレもなく、利用環境が整っていない状況です。</p> <p>今後は将来の使用に耐えうるか、耐震診断等を実施し、同館活用の検討を進めます。</p>
<p>4 新潟市史、豊栄市史等で記述されている北区の歴史を簡易的に一体化した区史をつくること。また、児童生徒等の教育にも活用すること。</p>	<p>現在、北区の歴史文化に関する1冊にまとめた刊行物はなく、北区の一体感の醸成のためにも必要な図書と考えます。北区の魅力再発見する常設展示を展開する中で、今後は皆様のご意見を伺いながら検討していきます。</p>

本事業の実施にあたっては、特色ある区づくり事業の地域再発見事業として平成26年度から平成28年までの3カ年計画、総額10,000千円で次のように実施予定です。

実施年度	平成26年度(1年目)	平成27年度(2年目)	平成28年度(3年目)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北区郷土博物館協議会、自治協議会と協議し、展示テーマなどを検討し、常設展示室の改装 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像展示、グラフィックパネルなどの作成 ・演示具、複製資料製作 ・横井の丘ふるさと資料館耐震診断委託 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・リニューアルオープン ・展示説明ボランティアの区民公募 ・地域の身近な遺産を自主的に調べ、祖先の知恵や工夫を学ぶ「ふるさと少年調査団」の結成 など

これらの事業を通して、区民の一体感の醸成や地域の歴史文化を誇りに思い、地域に根ざした活動を受け継いでいく人材の育成、北区の貴重な資料の保存収集の拡大などの事業効果が期待されています。

平成25年度入館状況 (平成26年3月31日現在)

月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館 入館者数(人)	主 な 行 事
4月	464	35	ようこそ絵図とくずし字の北区へ！展 4/27～6/30
5月	610	53	ようこそ絵図とくずし字の北区へ！展 4/27～6/30
6月	587	52	ようこそ絵図とくずし字の北区へ！展 4/27～6/30 (1,267人)
7月	1117	85	第30回 菱湖会書展 7/10～21 (631人) 第16回 松蔭賞書道展 7/27～8/25
8月	850	126	第16回 松蔭賞書道展 7/27～8/25 (1,033人)
9月	1220	32	第7回 新潟市北区こども科学展 9/14～23 (937人)
10月	910	39	南画家 阿部半雅展 10/5～27 (800人)
11月	924	20	第23回 博物館まつり・チャリティー骨董市 11/2～4 (のべ615人) まなびやに託されたメッセージ展Ⅱ北区の小中学校所蔵品調査から 11/23～1/19
12月	428	94	まなびやに託されたメッセージ展Ⅱ北区の小中学校所蔵品調査から 11/23～1/19 はんこで遊ぼう 12/8 (17人)
1月	370	3	まなびやに託されたメッセージ展Ⅱ北区の小中学校所蔵品調査から 11/23～1/19 (775人)
2月	647	14	第7回 新潟市北区ジュニア絵画展 2/8～23 (557人)
3月	925	33	第9回 新潟市北区美術協会会員展 3/20～23 (592人)
合計	9052	586	

12月28日～1月3日は年末年始休館

寄贈資料紹介

平成25年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

【弦巻松蔭関係資料】

鶴田 一雄様 (西区) …松蔭揮毫「淋漓」(マクリ・本紙143.5×34.5cm)
小池 一司様 (北区) …松蔭関係写真28点

【美術資料】

増嶋 勝弘様 (秋葉区) …高野常与志作品1点 (色紙)

【歴史資料】

豊栄土地改良区様 (北区) …「福島潟土地改良区」看板1点
石動神社氏子様 (北区) …石動神社鬼瓦 (拝殿北側部) 一式
清水 高明様 (北区) …溝口侯御歴代御治世一覽1枚、新発田城中御間柄全図1枚、明治初年ノ新発田藩家中屋敷割図1枚 計3点

【民俗資料】

高橋 剛 様 (北区) …アセチレンランプなど計14点
高橋 久夫様 (北区) …ヨコヅチ1点、イワイビツ1点 計2点
米田 正作様 (北区) …スキー板、ストック・スキー靴 一式
飯田 孝男様 (北区) …モミカチギネ1点
本田 耕一様 (北区) …千歯コキ1点、シロカキマンガ1点 計2点
神田 禎尚様 (北区) …水桶2件4点、漬物桶1点、桶1点、ハンギリ1点 計5件7点
石井 研二様 (北区) …ヤマギモンなど計79点

【図書】

新発田郷土研究会会長 佐藤泰彦様 (新発田市) …新発田郷土研究会編「新発田郷土誌」第32号～36号・38号～41号 計9冊
新発田野鳥の会様 (新発田市) …新発田野鳥の会編「平成24年度野鳥新発田20周年特集号」
能城 秀喜様 (君津市) …能城秀喜著「上総掘り前史・大坂掘り三百年(4)」(「帝京平成大学紀要第24巻第2号」抜刷)
関口 忠邦様 (北区) …関口忠邦著「新潟県の天然物方言集(方言名から標準和名)」「新潟県の天然物方言集(標準和名から方言名)」計2冊
関 雅之様 (新発田市) …関雅之著「考古学から見た阿賀北地方の七世紀」(「越佐研究第70集」抜刷)
「新潟県における縄文・弥生時代ヒスイ勾玉の一考察」(「新潟考古第24号」抜刷) 計2冊
小川 竹二様 (北区) …小川竹二著「わが家の昭和史第三編「十五年戦争と地主制の崩壊」」その1～3 計3冊
加藤 僖一様 (中央区) …全国良寛会編「良寛だより第141号」
小黑 忠 様 (北区) …菱湖会編「第30回菱湖会書展作品集」、美術年鑑編集部編「美術年鑑2014 平成26年版」計2冊
脇屋 まり様 (横浜市) …横浜市発展記念館・横浜開港資料館編「関東大震災90周年記念 関東大震災と横浜一廃墟から復興まで」
岡村 浩 様 (西蒲区) …越佐文人研究会編「新潟県文人研究第16号」
月岡久美子様 (北区) …西林昭一・富田淳編「北京故宫 書の名宝展」など7冊
月岡 徳忠様 (北区) …求美会編「創立40周年記念 第80回絵画グループ求美会展作品集」
島 文次郎様 (北区) …島文次郎著「わが思いでの水彩画文集[福島潟・近郊編]」「わが思いでの水彩画文集[旅行編]」計2冊
本間 修一様 (北区) …本間修一・笹川勝夫・石川野笛編「ふれあい とよさか中高年教養大学開学20周年記念誌」
羽賀 一蔵様 (北区) …羽賀一蔵著「曾我簡堂先生」

寄贈のお願い 当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。